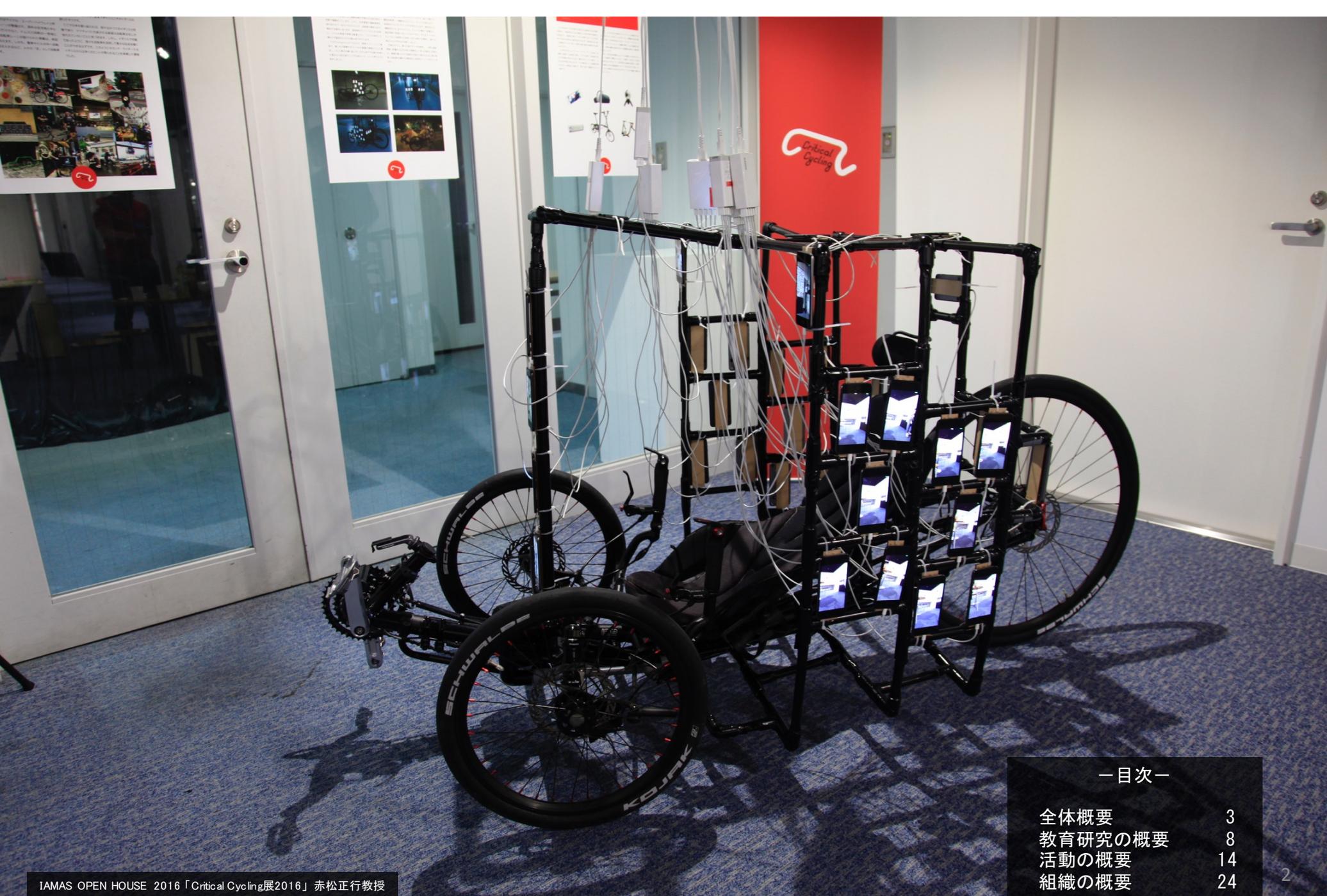


平成28年度 IAMASの活動と運営報告





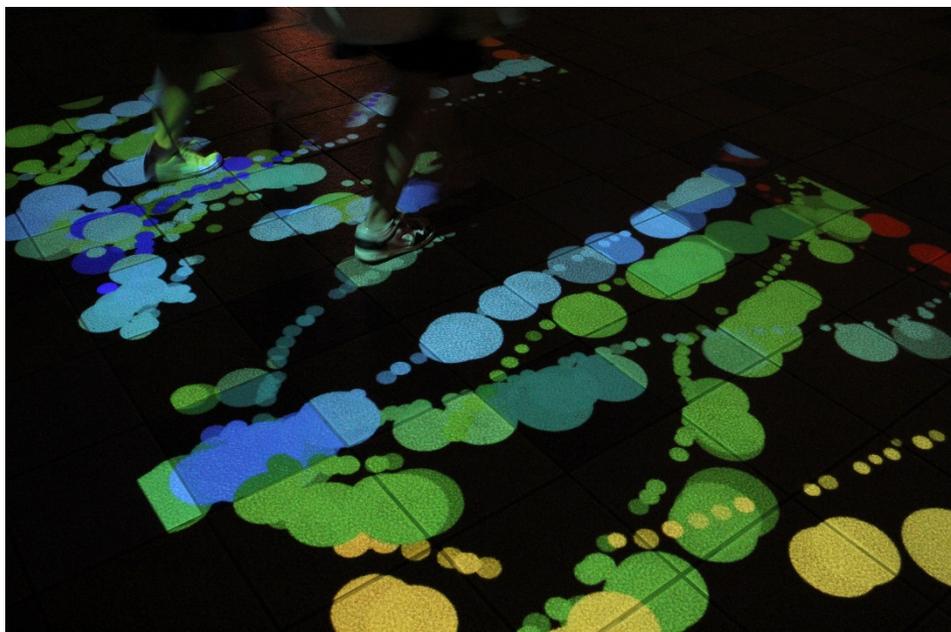
— 目次 —

全体概要	3
教育研究の概要	8
活動の概要	14
組織の概要	24

# 組織の概要

## IAMAS の目的

情報科学芸術大学院大学[IAMAS]は先端技術と芸術的創造の融合を建学の理念に、芸術、デザイン、工芸、人文学など様々な専門分野の融合による研究と実践から社会の新しい在り方を創造的に開拓する人材を育成するとともに、総合的な知を探求し、わたしたちの新しい文化や産業の在り方を提案する県立の大学院大学です。



Trans-Floor2 [IAMASメディアサイト研究会]

### 沿革

- 1996 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー (IAMAS) を設立
- 2001 情報科学芸術大学院大学を開設  
メディア表現研究科 (修士課程) を設置  
大学附属研究機関メディア文化センター (CMC) を設置  
大学附属図書館を設置
- 2005 リンツ美術工芸大学と交換留学生協定
- 2010 メディア文化センター (CMC) を産業文化研究センター (RCIC) に改名
- 2012 岐阜県行政改革アクションプランにより国際情報科学芸術アカデミーを廃止
- 2014 ソフトピアジャパン地区へ、全学移転

# 組織の概要

## 教育 目標

情報科学芸術大学院大学は建学の理念に基づき、新しい文化を創造する高度な表現力を授け、現代社会の諸問題に応答できる人の育成を教育目標として掲げています。

### ・学位授与方針(ディプロマポリシー)

情報科学芸術大学院大学は建学の理念に基づき、科学技術と哲学・思想的視野をともなう新しい文化を創造する高度な表現者の育成を目標とし、その目標のために編成されたカリキュラムにおいて、所定の単位を取得することに加え、論文審査あるいは作品・論文審査、及び最終試験を合格した学生に修了を認定し、学位を授与します。その際、以下の点が問われます。

- ・専門性を有した自立したアーティスト・デザイナー・エンジニア・研究者・教育者として、必要な能力を身につけたか。
- ・高い倫理性と強い責任感を意識し、未来の人間の生き方、幸福を追求しながら、研究が現代社会の諸問題に対する応答として成果を得ることができたか。
- ・研究領域によらず様々な分野を専門とする人々とも互いに積極的に関わりあい、その交流の中から生み出される「新しい知」のあり方を身につけたか。

### ・教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

情報科学芸術大学院大学は建学の理念に基づき、新しい文化を創造する高度な表現力修得を目指し、体系的に専門性を獲得するための実践的かつ領域横断的な科目を配置し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

- ・高度な表現者としての素養を身に付けるとともに、社会の多様な要請に対応した幅広い知識と実践力を修得するため、プロジェクト科目および特別研究科目を設置する。
- ・自らを批評し研究成果の社会的意義を問うための総合科目を設置する。
- ・専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために専門科目および制作演習科目を設置する。
- ・問題発見力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力など、研究において必須となる汎用的な能力を育成するため導入科目を設置する。

### ・入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

多様な背景を持った学生により高度な学習機会を与えるために、積極的な情報発信を行い、面接を主体とした多様な入学者選抜を実施しています。その際、以下のような学生の入学を想定しています。

- ・自らの専門領域を活かし、他分野と横断的な探求をする。
- ・情報社会の新しいあり方を創造的に開拓する。
- ・人や社会との新しい関係性を考え、次世代の産業を創出する。
- ・様々な形態の芸術表現から新しい文化を創造する。
- ・情報やコミュニケーションに新たな形を与え、地域社会に提案する心豊かな社会の実現をめざす。

全ての大学等において、以下の三つの方針を一貫性あるものとして策定し、公表するものとする。

①卒業認定・学位授与の方針、②教育課程編成・実施の方針、③入学者受け入れの方針

(学校教育法施行規則一部改正平成28年3月31日改正、平成29年4月1日施行)

# 組織の概要

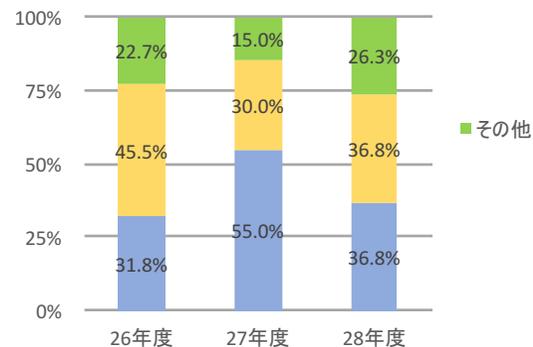
## 学生

- ▶ 主に芸術、情報、工学、社会科学の出身者に加え、最近では、経済、法律、文学など、より分野の多彩化がすすんでいます。
- ▶ 常に社会人経験者が3～4割を占め、教員経験者も1割程度となっています。
- ▶ ダブルマスター入学者も徐々に増加しています。
- ▶ 比較的安定した出願者数(平均倍率1.5)となっており、全国大学院進学率(H28: 12.1%(速報値), H27: 12.2%)を鑑みれば健闘といえます。
- ▶ 多彩な出身地からの学生構成となっています。

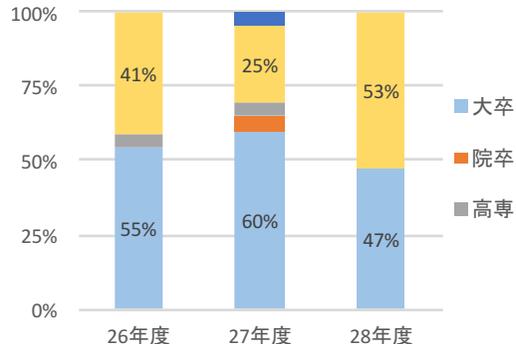
### ▶ 学生受入状況

	入学者(倍率)		性別		出身地別			経歴別								
			男	女	県内	県外	外国	大卒	院卒	高専	研究生	専門学校	社会人	社会人	社会人	
													(文系)	(理系)	(教員)	
28年度	19	(1.4)	15	4	2	16	1	9						6	4	
27年度	20	(1.8)	13	7	2	17	1	12	1	1	1				5	
26年度	22	(1.5)	16	6	3	18	1	12		1				2	5	2
25年度	21	(1.0)	14	7	2	16	3	12					1	5	1	2
24年度	22	(1.7)	16	6	8	12	2	11	1				1	4	2	3

### ▶ 出身分野



### ▶ 経歴



### ▶ 出身大学等(過去3年)

H28: 東工大、慶應義塾大、岐阜大、早稲田大、名古屋学芸大、日大、名古屋芸術大、東京理科大、同志社大、中京大、明治大、立命館大、東京家政大、Kyungpook National Univ.

H27: 九州大、一橋大、大阪大、名古屋大、千葉大大学院、日大、青学大、愛知芸大、東京造形大、多摩美大、鈴鹿高専、名古屋芸大、名古屋市大、愛知淑徳大、札幌大谷大、成安造大、秋田県大、東京工芸大、Sogan大

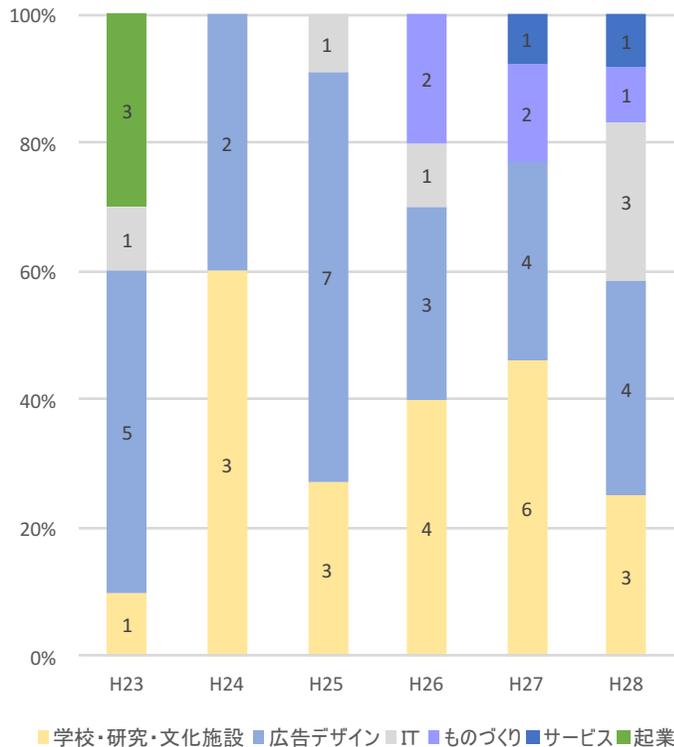
H26: 東工大、京都芸大、宇都宮大大学院、首都大、千葉大大学院、立命館大、法政大、信州大、東京理科大大学院、倉敷芸大、岐阜高専、琉球大、名古屋芸大、関大、東京工芸大、広島市大、洗足音大、福島大、中京大

# 組織の概要

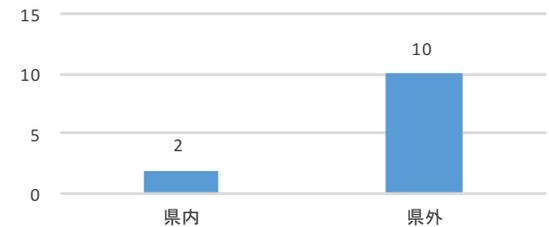
## 進路

- ▶ 教育機関や文化施設、広告やデザイン系企業への就職が多い傾向となっています。
- ▶ 近年はベンチャー型ものづくり系企業への就職希望者が増加しています。
- ▶ 卒業生ベンチャー企業(㈱ライゾマティクスや㈱GOCCO. など)で働く者も増加しています。
- ▶ フリーランスや自営でデザインやアートなどクリエイティブな仕事をする者は3割程度あります。
- ▶ 近年、県内での就職や自営、あるいは居住を希望する卒業生が増加し、東海圏における卒業生の定着率は高くなっています。

▶進路状況



▶県内外別H28



### [卒業生の進路]

#### ▶就職先(過去5年)

##### ▶県内

㈱システムアドバンス、㈱イシュー、㈱たんぽぽ薬局(岐阜市)、岐阜県立羽島高校、㈱間チルダ、㈱Gocco、㈱Grasp at the air、㈱インフォファーム、㈱TAB、本巣市地域おこし協力隊、岐阜各務野高等学校、中村直永デザイン事務所、Fresh Lab Takayama、KAKKO E (同)

##### ▶県外

㈱新東通信、(財)静岡県舞台芸術センター、㈱ステップワイズ、㈱ラークスエンタテインメント、㈱イチワ、㈱LAST DESIGN、多摩美術大学、㈱サイバーエージェント、SOLIZE Engineering、Noiz architects、チームラボ(株)、soft device.inc、日本システム開発(株)、㈱アマナ、広島市立大学、武蔵野美術大学、名古屋芸術大学、㈱エジソンフィルム、㈱NHKマート、㈱サイバーエージェント、㈱ケイズデザインラボ、ユカイ工学(株)、㈱日本テレビアート、㈱二番工房、京都造形芸術大学、㈱プロノハーツ、秋田公立芸術大学、Noiz Architects、NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]、(有)BANZAI CREATIVE、愛知淑徳大学、Takram desing engineering、㈱博報堂プロダクツ、㈱カヤック、(特非)こどもNPO、㈱N and R Foldings Japan、FMIいちのみや(株)、愛知北エフエム放送(株)、山口芸術情報センター[YCAM]

##### ▶進学

愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程、大阪大学人間科学研究科博士後期課程、大阪大学人間科学研究科、岐阜大学大学院工学研究科博士課程、筑波大学大学院博士課程、東京芸術大学大学院映像研究科博士課程、名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程、京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程、リッツ美術芸芸大学博士課程(オーストラリア)、ロイヤルカレッジオブアート(イギリス)、慶應義塾大学大学院後期博士課程

# 組織の概要

## 研究

- ▶ 公費や財団助成による研究、受託や委託研究と多くの研究が実施されています。
- ▶ 一般財団(小川科学技術財団、放送文化基金、トヨタ財団など)の助成を受けている教員も3割程度あります。
- ▶ 他機関の研究に研究分担者として参加する教員も増えています。

### ▶ 外部資金研究

科学研究費 / 日本学術振興会 Grant-in-Aid for Scientific Research

基盤研究C

H27-H29 音楽体験を拡張するための基盤技術とインタラクティブデザイン

挑戦的萌芽研究

H27-H29 3Dスキャニング技術を用いたインタラクティブアートの時空間アーカイブ

基盤研究C

H26-H28 戦後日本におけるマス・メディア受容と現代芸術の文化学

基盤研究C

H27-H29 1960～70年代にみられる芸術表現の研究拠点形成と資料アーカイブの構築

基盤研究B

H26-H28 大学におけるヴィジュアルリテラシー教育の実践とその基礎理論の構築

基盤研究C

H27-H29 オールアフレコを用いた次世代サウンドデザインの物語表現研究

基盤研究C

H27-H29 コピペ時代のプログラミング能力評価手法の開発

基盤研究B

H27-H29 聴導犬をモデルにした接触コミュニケーションロボット

挑戦的萌芽研究

H27-H28 パーソナル・アプリケーション以降の芸術表現に向けた視聴覚メディアの系譜学

### ▶ メディア芸術アーカイブ推進事業(文化芸術振興費補助金)

本学が標榜する「メディア表現」をアーカイブの対象に、①文化資源の知財化、②共有手法の開発、③知を社会循環する手法を研究し、学術領域 としての価値創出を目的とするプロジェクト

### ▶ COI拠点「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点」(国立研究開発法人化学技術振興機構)

3Dプリンターのようなデジタル工作機械により、メーカーではない一般の人々が多様な製品を製造する社会を想定し、そこで必要となる社会制度を知的財産権および製造物責任の視点から提言しています。

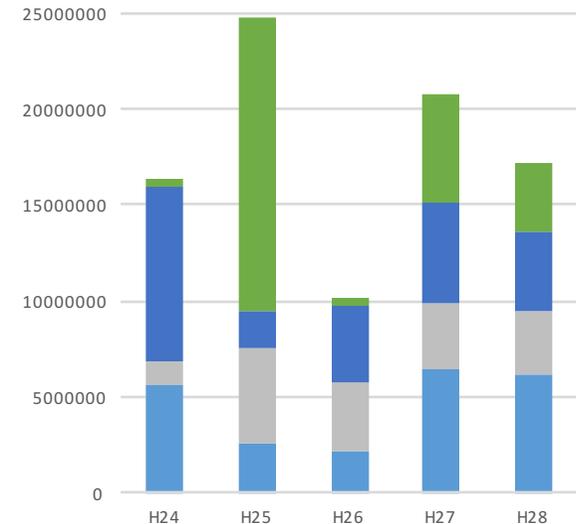
### ▶ 公益財団法人小川科学技術財団研究助成金

デザイン・プロセスアーカイブシステムに関する研究

移動体環境を活用したユーザー体験拡張インタラクションのデザイン

※H28.10現在

### ▶ 外部資金



■ 外部資金 科学研究費  
■ 外部資金 共同研究費  
■ 外部資金 受託研究費  
■ 外部資金 その他研究費

# 組織の概要

## 研究

- ▶ H28年度の共同研究と受託研究の件数は増加しています。(金額はほぼ横ばい)
- ▶ 特に、移転以降、共同研究の相談数の増加が顕著です。

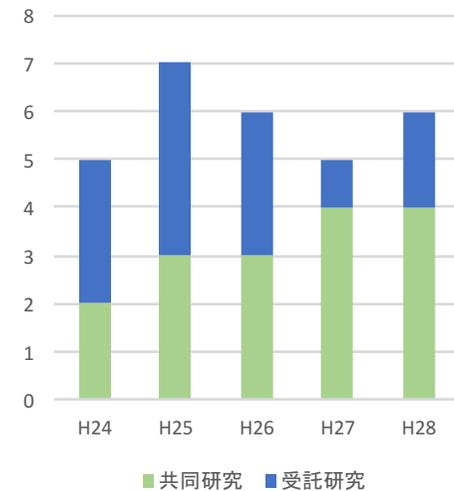
### ▶共同研究

- ・パナソニック株式会社
- ・株式会社電通 2016年8月1日から2016年12月31日  
デジタルテクノロジーを使った地域社会の課題解決
- ・アイシン精機株式会社
- ・グレイセル株式会社およびTAB  
根尾地区における共創手法を通じた地域再生の研究

### ▶受託研究

- ・凸版印刷株式会社  
平成28年度文化庁メディア芸術所蔵情報等整備事業メディアアート分野
- ・国立研究開発法人 科学技術振興機構

### ▶共同・受託研究件数



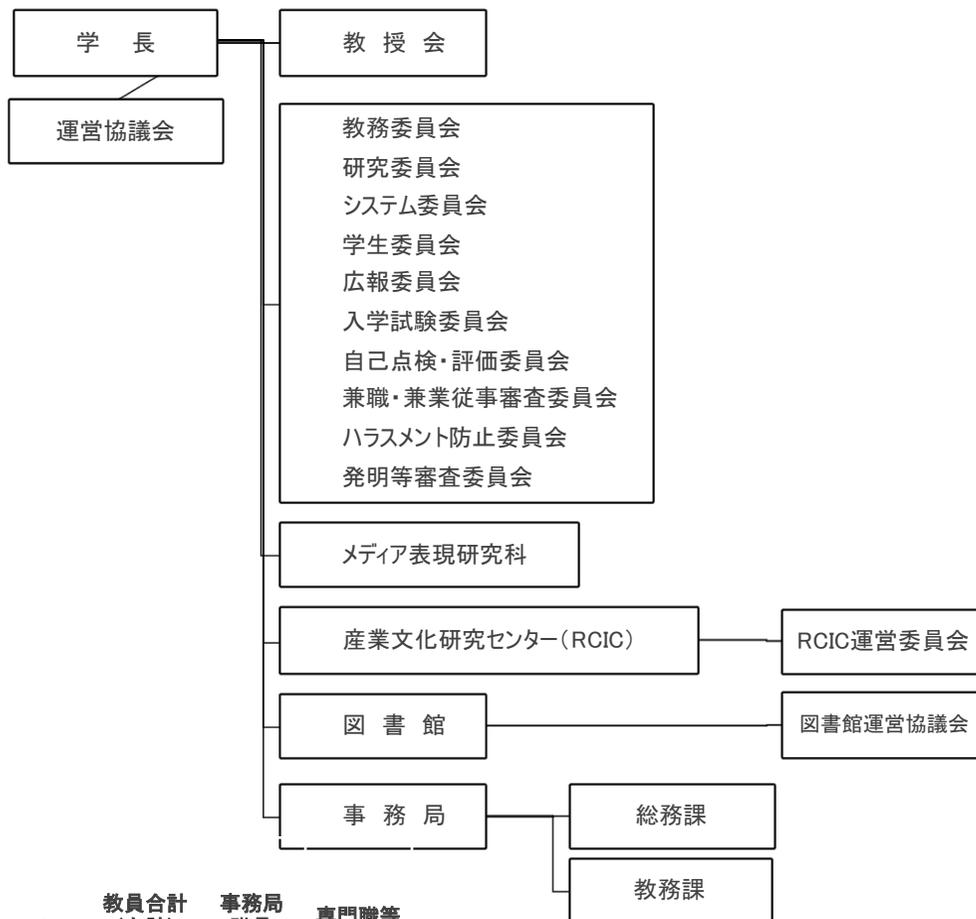
※H28.10現在

※ 共同研究 : 必ずしも研究資金の授受を問わず、人材交流や技術・施設の共用による研究であり、契約を締結したもの

※ 受託研究 : 官公庁、自治体や民間企業などから受託して行う研究

# 組織の概要

## 組織図



・教職員数

	教授	准教授	講師	助教	教員合計 (左計)	事務局 職員	専門職等
大学院大学	13	5	1	0	19	10	11
(うち女性)	(1)		(1)		(2)	(3)	(5)

# 組織の概要

## RCIC

- ▶ 産業文化研究センター(Research Center Industrial Culture[RCIC])は、産官学連携業務、Webや印刷媒体による広報業務、イベントの企画・運營業務など、IAMASの連携および情報発信を主に行う拠点です。
- ▶ IAMASの研究成果を産官学連携や文化的活動を通して広く社会に活かし、様々な貢献を行っています。
- ▶ 近年では、RCIC研究員による制作・研究活動の成果が学会などでも評価されています。

### 地獄絵スタンプラリーvol.2

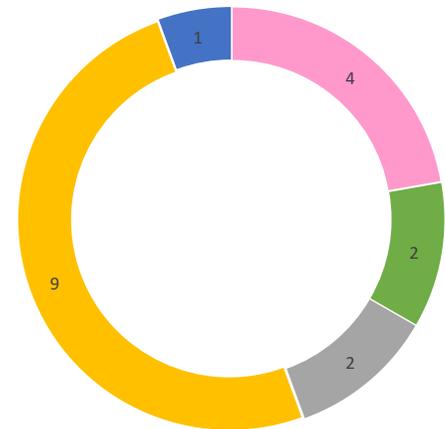


産業文化研究センターでは、揖斐川町で開催されるタウンフェスティバル、揖斐川ワンダーピクニック内で「地獄絵スタンプラリー vol.2」を実施しました。「地獄絵スタンプラリー」では、揖斐川町の播隆院一心寺に収蔵される地獄絵をモチーフにしたスタンプを、揖斐川町各所を周遊しながら集めます。第2弾では、スタンプを押すと地獄の責め苦にあう罪人たちの悲鳴や叫び声が聴こえてくるなど、昨年以上に阿鼻叫喚の地獄を味わえました。全てのスタンプを集めると、ゴールとなる一心寺では先着100名の方に特製地獄絵馬をプレゼントしました。またミニFMでのラジオ配信「ワンピクFM」を会場内で実施しました。特設ブースではFMラジオ受信機を制作するワークショップも開催しました。

2016年05月29日(日) 10:00 - 17:00  
三輪神社境内(岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪1322)

金山智子教授、高尾俊介研究員

▶H28年度4月～9月連携状況



■ 共同研究 ■ 受託研究 ■ 地域連携 ■ 相談 ■ その他

### アートまるケット「ながれミながら」

2015年から岐阜県美術館館長である日比野克彦氏のディレクションによる企画展「アートまるケット」。今年は「ながれミながら」と題して、川の流れや川のはとりに集まる人々を中心とした作品やワークショップなどが展開されました。アートまるケットは、岐阜県美術館と岐阜県立の3つのアカデミー(国際園芸アカデミー、国際たくみアカデミー、森林文化アカデミー)、本学の協力による新たな取り組みです。本学からは、M1のギン イーギョンさんによるスタンプラリーと竹村望さんが川を使ったワークショップ「はしハシ、かけカケ」を行いました。

2016年07月16日(土) - 2016年09月25日(日) 10:00 - 18:00  
WS 2016.09.10  
岐阜県美術館(岐阜県岐阜市宇佐4-1-22)

金山智子教授



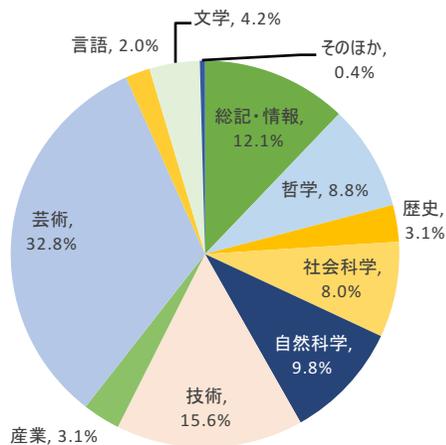
▶「産業・地域連携成果報告」  
[IAMAS Annual Report]  
IAMASの産業、文化、地域社会に関する取り組みについて、「産業・地域連携成果報告」にまとめ、発刊しています。

# 組織の概要

## 附属図書館

- ▶ 教育研究支援
  - ・メディア表現の教育研究に資する資料を収集しており、蔵書構成では技術・芸術分野の割合が大きくなっています。
  - ・利用は、年間貸出3,674点、調査相談124件など。学生1人当貸出48点は公立大学平均9点を大きく上回ります。
  - ・学生・教職員の協力で「図書館便り」の発行や企画展示などをおこない、利用促進を図っています。
- ▶ 地域貢献
  - ・学外者の入館者数は移転後1000人以上に増加。公開講座を毎週開催し、地域に開かれた図書館として機能しています。

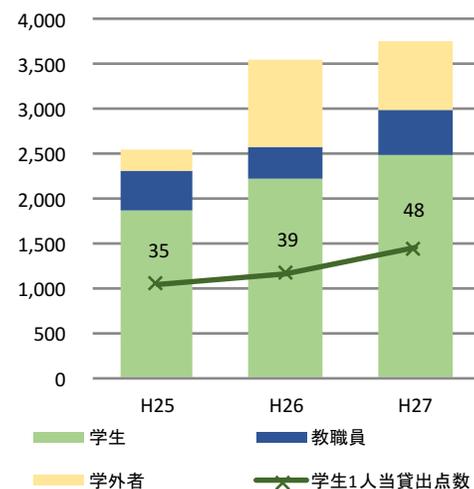
▶ 分類別蔵書割合



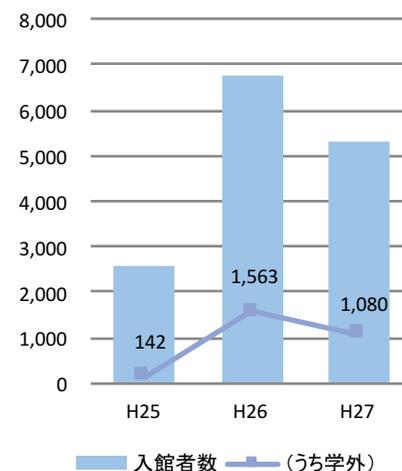
▶ 蔵書数 (H28.3現在)

図書	41,176 冊
視聴覚資料 (DVDなど)	3,128 点
雑誌	144 種
データベース	4種
電子ジャーナル	6種

▶ 貸出点数



▶ 入館者数



※学外者新規登録者41人(H27年度)

▶ 公開講座「図書館長が選ぶ今週の一冊」

101回開催(H26～H28.9末)  
参加者746人  
※岐阜県図書館で5回開催(H27～)



# 活動の概要

## 教育

- ▶ 毎年、新しいメソッド、テクノロジー、ツールの導入や、地域社会や環境を活用し、先端的な授業を展開しています。
- ▶ H28年度は、基礎カリキュラムにおいて人型ロボットPepperを用いた幼児教育施設への展開、展示会エンジニアによる集中ワークショップ、そして、新たに県内工場と連携した提案型ワークショップと、多様な試みをしています。
- ▶ 社会で活躍するIAMAS卒業生たちによるレクチャー群や国内外の研究者たちによるレクチャーの充実も図っています。

### ▶ 情報学基礎

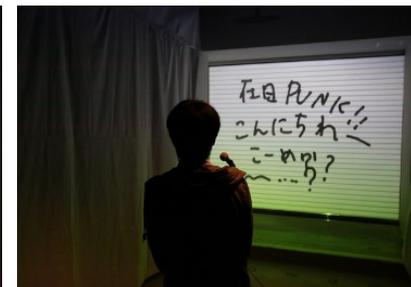
幼児教育施設における人型ロボットの活用の提案を通じて、人とロボットの関係における様々な可能性を探りました。複数回の試行を通じて、ロボットの役割や幼児のロボットへの接し方を工夫することで、幼児の行動にいろいろな変化が見られました。

(協力:大垣市)



### ▶ メディア表現基礎

国内外の主要なメディアアート作品の展示を手がけてきた展示会エンジニアを講師に迎え、インタラクティブなインスタレーション作品の展示や展示空間、設営に関する技法や技術的側面について実践を通して集中的に学ぶという内容。メディアアートの現場や展示の舞台裏、展示方法など学ぶ機会となり、学生から高い授業評価となりました。



# 活動の概要

## ▶ モチーフワーク後半

関市の工場6社と連携し、工場の新たな可能性を提案する授業を実施しました。工場の視察で現状を把握してから、既存の枠に捉われない工場の新たな可能性を見出しました。最終発表では、連携した工場関係者にご参加いただき、具体的なアイデアや試作品など各チームが発表しました。



## ▶ 社会で活躍する人やIAMAS卒業生などによるレクチャー

国内外の研究者たちによる特別講義の実施、レクチャーの充実を図るほか、卒業生を招いたレクチャーを開催し、身近な本学卒業生からの声を聴く機会を提供しています。

### ▶ 特別講義「WEBテクノロジーと音響合成」

コンピュータやインターネットの登場により様々な表現領域で新しい手法の発見や拡張が行われました。また、近年はスマートフォンの普及によって個人がポータブルなコンピュータを携帯していると言えます。本講義ではブラウザで音響合成ができる Web Audio API という技術を使い、スマートフォンに既に普及しているポータブル音響処理端末として捉えることで可能となる表現方法について解説。

講師：与那嶺直氏

2016年06月11日(土)14:00 - 17:00

### ▶ 特別講義「国家・憲法（改正？）とクリエイティビティ」

憲法学者の西原博史先生を迎え、日本国憲法や法律（諸制度）をめぐる現在の状況や創造活動との関係、多様な考え方や問題点などをわかりやすく解説。

講師：西原博史氏（憲法学者）

2016年06月25日(土) 14:00 - 17:00

### ▶ レクチャー これからの創造のためのプラットフォーム「川瀬慈 映像人類学講義」

映像人類学者、川瀬慈氏をお招きし、「人類学とアートの交差」、「視覚から感覚へ」等のキーワードとともに、広大な映像人類学の世界の「今」をガイドしていただきました。

講師：川瀬慈氏（国立民族学博物館助教）

▶ 映像人類学講義 I 「新しいナラティブの創造 - 世界の動向から」

2016年05月28日(土) 14:00 - 17:00

▶ 映像人類学講義 II 「川瀬慈の世界」

2016年06月04日(土) 14:00 - 17:00

これからの創造のためのプラットフォームプロジェクト

(前林明次教授、瀬川晃准教授)



川瀬慈さん

### ▶ レクチャー「ShopBotの活用方法など」

全国各地のFab系施設へのShopBotの導入のほか、ShopBotを使い、継手仕口を利用した什器や遊具の製作からスキャンした能面の切削まで幅広くレクチャーいただきました。

講師：秋吉浩気氏（VUILD）

2016年10月26日(水)

主催：Craft, Fabrication and Sustainabilityプロジェクト、あたらしいTOYプロジェクト

### ▶ レクチャー「展示空間 チューニング、アーカイブ、レイアウト」

建築家の西澤徹夫氏に、「チューニング」「アーカイブ」「レイアウト」をキーワードに講義いただきました。

講師：西澤徹夫氏

2016年10月26日(水)18:00 - 19:00

主催：情報社会特論B

### ▶ 公開レクチャー「フィールドの音を録る - きこえる音から、きこえない音まで」

ベトナムや沖縄・南大東島の音文化の調査・研究から、日常的な知覚体験を問い直す音響・映像作品の制作まで幅広くレクチャーいただきました。

講師：柳沢英輔氏

2016年11月05日(土)14:00 - 17:00

これからの創造のためのプラットフォーム

### ▶ レクチャー 「ドイツと日本での映像制作について」

IAMAS卒業後、バルリンをベースに制作・発表を行ってきた鈴木光氏を招いてのレクチャーを実施しました。

講師：鈴木光氏（2011年修了）

2016年06月27日(月)18:30 - 19:30

HD II 高精細映像技術を用いた表現研究プロジェクト



鈴木光さん

### ▶ レクチャー

最先端のソフトウェアと3D モデリングを使用し、植物のやわらかな有機的な形態と、つめたい印象のあるテクニカルなスケッチを合体させ複合的なイメージを生み出す制作手法や考え方、ギャラリーとの関わりを含めた卒業後の活動、大学院時代の活動や苦労話などについて卒業生からのレクチャーを行いました。

主催：ATP

講師：村山誠氏（2009年修了）

2016年09月21日(水) 18:00 - 19:30

あしたをプロトタイプにする



村山誠さん

※特別講義、レクチャーは、H28年4月 - 11月上旬のものを掲載。

# 活動の概要

## 研究

プロジェクト型研究:

- ▶ IAMASの研究の中心の一つにプロジェクト研究があり、研究の関心や方向性が示されます。これからの社会における創造や新しい社会を創るデザインをテーマにした研究が増えています。
- ▶ プロジェクト研究では、広い視野と企画力、組織力、加えてアイデアを実現に導くマネジメント能力などを身につけることを目指します。

### 新しい表現

アートを／で考える

HD II 高精細映像技術を用いた表現研究

これからの創造のためのプラットフォーム

NxPC.Lab      あたらしいTOY

図書館プロジェクト

体験拡張環境

メディア・地域・鉄道プロジェクト

Craft, Fabrication, Sustainability

金生山

福祉の技術

あしたをプロトタイプ化する

根尾コ・クリエイション

ものづくりオープンメソッド

未来と社会

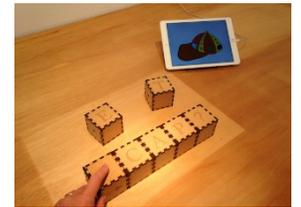
デザイン・ものづくり

### あいちワークショップギャザリングへの出展

プログラミングに向けた論理的思考を養うことと英語を学ぶことを一体化した積み木「つみぎでえいご」を出展。

2016年08月27日(土) 10:00 - 17:00  
 椋山女学園大学星ヶ丘キャンパス

あしたをプロトタイプ化するプロジェクト  
 鈴木宣也教授、赤羽亨准教授



### ねお市@ねおこ座

作る、食べる、遊ぶ、さまざまなワークショップ型ねおこ座オープン周年記念イベント「ねお市@ねおこ座」を開催。

2016年07月23日(土)-2016年07月24日(日) 10:00 - 15:00  
 ねおこ座(岐阜県本巣市根尾市場247-1)

内容: ねおデコラジオ(根尾の自然を使ったラジオ作り)  
 ぶらへんび(猿が嫌いなへび作り)、菊花ロール寿司作り  
 おしゃべりスタンプ(レーザーカッターを使用したスタンプ作り)

根尾コ・クリエイション プロジェクト  
 金山智子教授、James Gibson 准教授、小林孝浩教授

### 触(食)楽展III

「あしたをプロトタイプ化するプロジェクト」の活動から生まれたプロトタイプを通じて、情報技術とデザインの関係性に気づきを与える展示を開催。見るだけではわからない作品に「触れて」「楽しむ」ことから、作る動機から制作に至るまでを鑑賞してもらう展示。今回は「触」に加え「食」もテーマに。

2016年09月29日(木)-2016年10月07日(金)10:00 - 18:00  
 名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」  
 (愛知県名古屋市中種区不老町)

あしたをプロトタイプ化するプロジェクト  
 鈴木宣也教授、赤羽亨准教授



# 活動の概要

## 研究

・授業やプロジェクトなどを通して学生が制作したものを、積極的に発表し、高い評価も得ています。

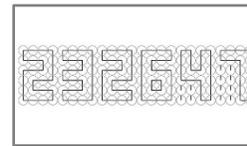
### ▶在校生・卒業生の主な受賞

[2016年度]

- ・安藤充人(2016年修了)、菅沼聖(2009年卒業)、伊藤隆之(2003年卒業)、城一裕講師  
論文『ofxEpilog: An openFrameworks addon for controlling an Epilog laser cutter』  
ICDF 2016 : 2nd International Conference on Digital Fabrication Best Paper Award
- ・島影圭佑(2016年修了)  
「OTON GLASS」  
国際エンジニアリングアワード「第11回 ジェームズ ダイソン アワード 2016」国内審査3位
- ・篠田幸雄(M2)  
「color2vibs」  
国際エンジニアリングアワード「第11回 ジェームズ ダイソン アワード 2016」国内審査5位
- ・高見安紗美(M2)、具志堅裕介(M2)、後藤良太(M2)、市野昌宏(2014年修了)、大石桂誉(2015年修了)  
『trans-floor! - play ground』  
アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム2016「汗かくメディア賞」
- ・綿貫岳海(M1)  
「A/D Clock」 App Art Award 2016受賞
- ・松本祐一(2003年修了)(音楽担当)  
「Birth-つむぐいのち」 映文連アワード2016受賞 優秀企画賞
- ・川崎綱平(2004年卒業)  
「Kit Mail Hologram」 Clio Awards Gold受賞
- ・高坂聖太郎(M1)  
「upland」 第2回とろざわ学生映画祭グランプリ受賞(監督:高坂聖太郎)
- ・綿貫岳海(M1)  
「iPod Jockey」 International Students Creative Awards 2016 [デジタルコンテンツ部門]優秀賞



「color2vibs」 篠田幸雄



「A/D Clock」 綿貫岳海

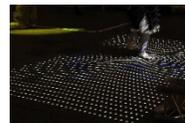
[2015年度]

- ・三原聡一郎(2006年修了)  
「鈴 / bell」  
Prix Ars Electronica 2015 - DIGITAL MUSICS & SOUNDART部門 Honorary Mentions
- ・篠田篤(2016年修了)  
「マウントアダプタの自動制御によるレンズ交換式カメラ拡張システムの開発」
- ・IPA 2015年度「未踏IT人材発掘・育成事業」採択
- ・大久保雅基(2016年修了)  
「私は.mp3の中で座っています(I am sitting in a.mp3)」  
ISEA 2015, The 21st International Symposium on Electronic Art 入選
- ・大澤悟(2016年修了)、竹内環(M2)、玉田雄一(M2)、蛭澤法子(2016年修了)  
「ぶりゅづん」  
アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム「汗かくメディア2015」汗かくメディア賞
- ・石塚千晃(2015年修了)  
「Portrait of daucus carota」  
第21回学生CGコンテスト 審査員賞(四方幸子選定)
- ・長谷川愛(2003年卒業)  
「(不)可能な子供\_01:朝子とモリガの場合」  
第19回文化庁メディア芸術祭 アート部門 優秀賞
- ・山本一彰(2016年修了)  
「算道」  
第19回文化庁メディア芸術祭 アート部門 新人賞
- ・こやまともえ(2015年修了)  
「fl/frame」  
第19回文化庁メディア芸術祭 アート部門 審査委員会推薦作品
- ・真鍋大度(2004年卒業)、石橋素(2001年卒業)、堀井哲史(2005年卒業)  
「Perfumeライブ」SXSW 2015」  
第19回文化庁メディア芸術祭 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品
- ・真鍋 大度(2004年卒業)、石橋素(2001年卒業)  
「YASKAWA × Rhizomatiks × ELEVENPLAY」  
第19回文化庁メディア芸術祭 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品
- ・菅野創「菅野創+yang02」(2009年修了)  
「セミセンスレス・ドローイング・モジュールズSDM #2 レターズ」  
高松メディアアート祭 優秀賞
- ・こやまともえ(2015年修了)  
「fl/frame」  
高松メディアアート祭 入選

### 「トランス・フロア」Trans-Floor

観客の行為に応じて反応するインタラクティブなメディア装置を用いて、普段見慣れた風景を一時的に変え「楽しく不思議な通路」の歩行を体験してもらう作品。2014年に好評を博した「トランス・フロア Trans-Floor」をリファインしての展示。

2015年12月11日(金) - 2015年12月13日(日)  
18:00 - 21:00  
大垣駅南北自由通路(岐阜県大垣市高屋町1)  
安藤泰彦教授、平林真実教授、小林孝浩教授



### IAMAS OS 3.0活動

大垣市、大垣観光協会が開催する「コミックタウンギャラリーおがき2016」の一環として、本学の在学生有志による作品の展示会「IAMAS WORKS 2016」が大垣駅前商店街にて開催。会期中、7名の学生による、映像や音を駆使した作品、手で持って体感してみる作品、新しい描画技法を用いたアニメーション作品などを展示。

2016年09月02日(金) - 2016年10月02日(日)  
10:00 - 16:00  
IAMAS OS 3.0.1 (学生主体の企画運営する展示・交流スペース)  
安藤泰彦教授

※受賞: 2015年度~2016年現在

# 活動の概要

## IAMAS 20th

情報科学芸術大学院大学[IAMAS]は、県立国際情報科学芸術アカデミー開学から20年を迎えました。これを記念して、20年を振り返り、また、今後のIAMASについて考えるイベントを各地で実施します。

### ▶IAMAS創立20周年記念事業企画展「Calculated Imagination(仮)」展

現代のメディアアート表現の領域において、第一線で活躍する卒業生アーティストによる展覧会を開催する予定です。会期中は、併せて、トークセッションやライブパフォーマンス・イベントを実施するよう準備を進めています。

#### ▶参加予定アーティスト:

クワクポリョウタ(2001年卒業)  
三原聡一郎(2006年修了)  
菅野創(2010年修了)  
山城大督氏(2004年卒業)  
村山誠(2009年修了)  
石塚千晃(2015年修了)

2017年03月10(金) - 2017年03月16日(木) 11:00 - 21:00  
ラフォーレミュージアム原宿(東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6階)



▶(公財)ソフトピアジャパン主催 ソフトピアジャパン・IAMAS 20周年記念事業  
2016.10.14(金) 20周年記念シンポジウム  
2016.10.15(土) ソフトピアジャパン文化祭「ソフこい祭り」



### [IAMAS 20th関連イベント]

#### ▶あいちトリエンナーレ2016 レクチャープログラム

「メディア・アートとは何か? IAMAS20周年から考える」

開学当初からIAMASに関わる面々がメディア・アートの20年を総括するシンポジウムを開催しました。

パネリスト: 三輪真弘教授、松井茂准教授、吉岡洋京都大学教授ほか

2016年10月10日(月・祝) 14:00 - 16:30

名古屋市美術館2階講堂(名古屋市中区栄二丁目17番25号)

#### ▶文化庁メディア芸術祭20周年企画展「変える力」連携企画

IAMASは、文化庁メディア芸術祭の変遷と共に、テクノロジーの進化による表現の変化を問い、メディア表現研究を展開してきました。近年「メディアパフォーマンス」というタームが、電子音楽を新たな表現史のコンテクストに再編しつつあります。メディアアートをめぐる研究の現在を問い、未来を議論しました。

#### [第1部] 三輪真弘作品演奏会(敬称略)

三輪真弘教授

演奏: 太田 真紀(ソプラノ)、寒川 晶子(ピアノ)

テクニカル・サポート: 松本 祐一

音響エンジニア: ウエヤマトモコ

ステージ・マネージャー: 後藤天

#### [第2部] シンポジウム 演奏会(敬称略)

登壇者: 川崎 弘二(電子音楽研究)、三輪 真弘教授、伊村 靖子講師

モデレーター: 松井 茂准教授

2016年11月6日(日)午後

(文化庁会期: 2016年10月15日(土) - 11月6日(日)の23日間の最終日)

アーツ千代田 3331(東京都千代田区外神田6丁目11-14)



#### ▶卒展 IAMAS創立20th記念トークセッション(予定)

歴代学長とともに、IAMASの20年を振り返り、今後の展望を語るイベントを検討中です。(卒展会期中)

#### ▶ストリーミング・ラジオ「ヒアマス」#3 公開収録

「耳で聴く、今のIAMAS」として、教員・在校生・卒業生の活動を紹介する非公式のポッドキャスト番組「ヒアマス」。第3回公開収録は、2016年3月15日(火)17時から、聞き手は城一裕(元)講師と松井茂准教授、ゲスト金山智子教授を迎え、「これまでの20年、これからの20年」をテーマにYoutube Liveで配信しました。

公開収録 2016年03月15日(火)17:00 - 18:00

金山智子教授、松井茂准教授、城一裕(元)講師

<https://itunes.apple.com/jp/podcast/iamas-fei-gong-shippoddokyasuto/id1028325747?mt=2> 公開中!



# 活動の概要

## IAMAS イベント

- ▶ 毎年、修士研究発表会・プロジェクト研究発表会を開催し、成果の発表を行っています。
- ▶ 隔年で岐阜おおがきエンジニアレおよびOgaki Mini maker Faireを開催し、新しいアートやものづくりに関する発信を行っています。
- ▶ 今年は、国際交流基金アジアセンターと共催で、主にASEANからの参加者を対象としたSummer Campを開催しました。

### IAMAS2016 第14期生修士研究発表会・プロジェクト研究発表会 [卒展]

学生が、「そして、これから」をテーマとして、修士課程の2年間で研究・制作したメディアアートやデザイン、音楽など「芸術と科学」を融合したユニークな作品の数々を展示・発表しました。また、研究領域を横断して取り組む本学のプロジェクト研究における成果を紹介したほか、トークイベント、音楽イベントなどIAMASならではの多彩なイベントを実施しました。

2016年2月25日(木) - 2016年2月28日(日) 10:00 - 18:00  
ソフピアジャパン・センタービル(3F ソピアホール)



- ▶ Program
- 2016.02.25(木)  
13:00-13:30 オープニングセレモニー
- 2016.02.26(金)  
13:00-16:00 トークイベント「21世紀型産業文化のつくり方」
- 2016.02.27(土)  
13:00-16:00 ライブ・パフォーマンス IAMASONIC  
18:00-20:00 ウェルカム・パーティー
- 2016.02.28(日)  
13:00-17:00 トークイベント「民主主義 - それぞれの視点から」  
18:00-18:30 クロージング・セレモニー

▶プロジェクト紹介ツアー  
ご来場の皆さまにプロジェクトの研究成果についてより深くご理解いただけるよう、展示ツアーを設けました。ツアー形式でそれぞれのプロジェクトの説明を受けながら展示会場を巡回いただけました。

[IAMAS2016 関連事業] (敬称略)

▶トークイベント

▷『民主主義 - それぞれの視点から』

「民主主義」をテーマに全3部構成のトークセッションを行いました。

第一部:「社会設計としてのフィクション」牛込陽介 × 城一裕(元) 講師

第二部:「傍観者から当事者へ」高嶺格 × 松井茂准教授

第三部:「民主主義 - それぞれの視点から」鈴木健 × 牛込陽介 × 高嶺格



▷『21世紀型産業文化のつくり方』

【登壇者】大橋博行(有限会社大橋量器代表取締役) / 河瀬麻花(ネコリパブリック首相) / 木内文昭(Makuake取締役) / Julie Watai(フォトグラファー/アーティスト) / 白鳥啓(株式会社間チルダ 代表取締役) / 松崎良太(きびだんご株式会社代表取締役Chief Momotaro) / 小林茂教授

### Summer Camp “Hack the World”

国際交流基金アジアセンターと本学は、“テクノロジーと創造性”をテーマに、東南アジアを中心として国内外から広く参加者を集め、特別カリキュラムによる1週間の集中ワークショップ「Hack the World」を開催しました。

本ワークショップでは、社会やコミュニティ、地域をデザインするための手法を実践的に学び、グループワークによるプロトタイプ制作を試みました。様々な国や地域のクリエイターやアーティスト、エンジニア、ディレクター、プログラマーや教育関係者等の異なる専門性や技術を有する参加者との対話を通じ、固有の歴史や文化、社会への問題意識の共有も目指しました。

2016年08月10日(水) - 2016年08月16日(火)  
Workshop24、樽見鉄道

小林茂教授、金山智子教授、ジェームズギブソン准教授、クワボリヨウタ准教授、小林孝浩教授



# 活動の概要

## 岐阜おおがきビエンナーレ2015

### Cracks of Daily Life 日々の裂け目

日常の中に潜むさまざまな亀裂に焦点をあて参加作品を選びました。特に作品による会場の空間構成と、同一会場で開催するイベントのための時間構成に特色があります。具体的に空間構成ではインスタレーションやメディアアートなど様々な形態の展示作品を、ある架空の街の風景のように起伏をつけて立体的に展示・配置したこと。また時間構成として、ある時間帯は会場全体の照明を上げ展示作品が鑑賞できるように、またある時間帯は会場全体を暗転させ映画やイベントが始まるといった具合です。今回は、このような空間的・時間的構成を「劇場型展示空間」と名付け、作品・イベントによる、ある種の「何処にもない街」の風景や状況を生み出すことを目指しました。

2015年12月19日(土) - 2015年12月23日(水・祝) 11:00 - 19:00  
ソフトピアジャパン・センタービル(3F ソピアホール)

安藤泰彦教授、三輪 真弘教授、小林昌廣教授、赤松正行教授、小林孝浩教授、前田真二郎教授、ジェームズギブソン准教授、クワクボリョウタ准教授、瀬川晃准教授、松井茂准教授

参加アーティスト: 赤松正行(技術協力: 小林孝浩)、岡本光博、クワクボリョウタ、ジェームズ・ギブソン(James Gibson) + TAB、田尻麻里子、田中広幸、塚本美奈、廣瀬周士、福本浩子、松井茂、松島俊介、八嶋有司、IAMASメディアサイト研究会、MM Lab. (敬称略)



【岐阜おおがきビエンナーレ2015関連事業】  
▶前夜祭:ひとりの傍観者と6人の当番のための『みんなが好きな給食のおまんじゅう』  
2015年12月18日(金)18:30 - 19:00  
三輪真弘教授

ソフトピアジャパン・センタービル(3F ソピアホール)



量子詩  
松井茂准教授 (+ 企画者)



Gift  
クワクボリョウタ准教授



The Dive - Methods to trace a city  
八嶋有司研究員

## Ogaki Mini Maker Faire 2016

Maker Faireは、電子工作やロボット、クラフト、ペーパークラフト、電子楽器、サイエンス工作、リサイクル/アップサイクルなど、様々な分野のつくり手「Maker」たちが全国から集まり、つくったものを見せ、語り、その楽しさを共有するイベントです。大垣での開催は今回で4回目となり、2014年に開催した「Ogaki Mini Maker Faire 2014」は130組以上の出展者と約5,500人の来場者により、驚きと興奮と共に沸きました。

2016年も、個人やグループ、コミュニティ、学校、企業など、多様なMakerによる作品の展示や発表のほか、来場者が家族で楽しめるワークショップやライブ、プレゼンテーションなどを予定しています。

2016年12月03日(土)12:00 - 18:00  
2016年12月04日(日)10:00 - 18:00  
ソフトピアジャパン・センタービル  
小林茂教授、八嶋研究員、  
星(元)情報支援専門職



【Ogaki Mini Maker Faire 2016 関連事業】  
▶前夜祭トークセッション  
2016年12月2日(金)19:00 - 21:00  
SF作家 野尻抱介氏 × 小林茂教授  
ソフトピアジャパン・センタービル 1Fセミナーホール

▶NxPC.LIVE Vol.24  
2016年12月3日(土)20:00 -  
ソフトピアジャパン・センタービル BF駐車場

▶展開図武道会〜この椅子いいすね！  
統一した制約条件のもとでスツールを製作し、プロダクトとしての完成度を競うことを通じてデジタルアプリケーションの可能性を探求することを目的としたコンテストを開催します。2012年に開始し第5回となる今回は、初回から続いている接着剤なし・MDF2.5mmのみでつくる「MDF2.5mm級」に、材料などの制限がほぼない「無差別級」を加え開催します。

2016年12月03日(土) - 2016年12月04日(日)

Craft, Fabrication and Sustainabilityプロジェクト  
小林茂教授



# 活動の概要

## 社会との関係

産官学連携の件数は増加傾向にあり、イベントや展示・展覧会が特に多くなっています。

### 文化・教育施設との連携

H27年からの岐阜県美術館での「アートまるケツ」に加え、H28は県展の企画への参加や審査員としての協力、岐阜市科学館での展示など、文化施設や教育施設との連携がますます進んでいます。

### 清流の国ぎふ芸術祭 — Art Award IN THE CUBE 2017

岐阜県が主催する新たな才能の発掘と育成を目的とした企画公募展「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」では、安藤泰彦教授が企画委員を務め、三輪真弘教授が審査員として参加しています。790件の応募の中から、卒業生の水無瀬翔さん(2012年修了)、安野太郎さん(2004年修了)が、第一次審査通過の15人に選ばれました。

### 「みかた・みえかた展」

あたらしいTOYプロジェクトの企画による展覧会で、在学生の宮野有史さん、岡崎友恵さん、具志堅裕介さんの作品が展示されました。

2016年08月06日(土) - 2016年08月28日(日) 09:30 - 17:30(土日のみ)

岐阜市科学館 図書室(岐阜県岐阜市本荘3456-41)

あたらしいTOYプロジェクト(クワクボリョウタ准教授、金山智子教授)

### "IAMAS ARTIST FILE"

岐阜県美術館の展示室において、IAMASに関係するアーティストの活動を紹介する企画展シリーズ。H28年度は#4となる前田真二郎教授による企画展を予定しています。

### 大垣市情報工房での展示

M2の佐野和哉さんが制作した作品を、1階エントランスホールに展示(2016年7月21日(木) - 2016年8月31日(水))しました。「きみがつくるアート」と題して、リモコンアプリ(iPad)を操作し、モニターに映し出されたカメラの映像に様々な特殊効果を加えて不思議な映像を作り出すことができる作品です。

岐阜各務野高等学校(赤松正行教授) H28年度・H29年度  
情報コンテンツ分野で活躍する人材を育成するための学習・指導方法及び評価方法の工夫・改善に関する実践研究

羽島特別支援学校(山田晃嗣准教授) H28年度から月1回

「特別支援学校におけるタブレット端末の就労支援への活用の可能性調査事業」(文科省予算)

岐阜聾学校、岐阜盲学校、希望が丘特別支援学校、大垣特別支援学校(山田晃嗣准教授、篠田幸雄(M2))  
H28年度から数回

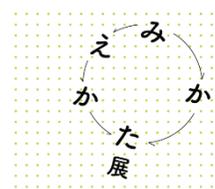
デジタルアプリケーションに関するワークショップ提案、レーザーカッターの研修、3Dプリンタのワークショップ

大垣市立 三城保育園(小林孝浩教授、安藤泰彦教授、山田晃嗣准教授) H28年度

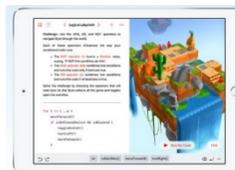
1年の必修授業、情報学基礎での人型ロボットpepperを使ったワークショップを開催



みかた・みえかた展



きみがつくるアート 佐野和哉



Swiftの教材例

## TRAINSPOTTING

山と川の穏やかな風景が流れる樽見鉄道。そんな普段、物静かな車両の中が、音楽と演出に満ちた空間に変貌！ライブ、DJ、VJ陣の多彩な演出により、普段の電車内が唯一無二の祝祭空間へと変わりました!!!

2015年11月21日(土)

大垣駅発: 18:33 樽見駅着: 19:34

樽見駅発: 20:16 大垣駅着: 21:18

主催: TRAINSPOTTING実行委員会

関連Project名: メディア・地域・鉄道プロジェクト  
金山智子教授、平林真実教授



## みんなで作る不思議なTシャツ

IAMASイノベーション工房で、おおがき体験博「おむすび博」パートナー講座のひとつとして、2015年のものづくり講座「みんなで作る不思議なバジ」に続き、「みんなで作る不思議なTシャツ」を実施しました。布地や木材に印刷する手法「シルクスクリーン」を体験する講座では、カッティングプロッターを利用して簡易シルクスクリーンの版づくりを行いました。

2016年10月22日(火) 09:30 - 12:30、14:00 - 17:00

IAMASイノベーション工房

岐阜県大垣市今宿6丁目52番地18 ワークショップ24 1F

高尾俊介研究員、高見知里技術支援専門職



# 活動の概要

## 出版 広報

- ▶ IAMASの研究や各種の活動について認知や関心を高めるための広報活動を行っています。
- ▶ 教員による研究や活動を掲載する「紀要」や、プロジェクト成果を纏めた冊子など、IAMASの研究活動の記録も行います。

### ▶ 情報科学芸術大学院大学紀要

Journal of Institute of Advanced Media Arts and Sciences

第7巻 2015年 特集 これまでの20年、これからの20年  
[研究ノート]



- 環境と対話、そしてIAMAS
- New Challenges in Media Art Education
- 作りながら学ぶ
- メディア・アートとICCの20年(とその変化)
- アートとテクノロジー
- インターネットの時代の始まり
- 移動する研究室
- 「メディアアート」と文化政策、この20年
- ここがIAMASであつたら信じられるのに

[その他]

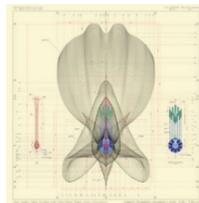
- ヒアマス第一回: この引き裂かれた時代に、アートを再定義する学校であり続けること
- ヒアマス第二回: 鳴り響く電気信号の軌の延長線上で

[Back Number]

- 第6巻 2014年 特集1 いま、大学で学ぶこと  
特集2 これからの創造のためのプラットフォーム
- 第5巻 2013年 特集 <これからのイアマス> 領下町からソフトピアへ
- 第4巻 2012年 特集 ものづくりコミュニティーの新たなかたち
- 第3巻 2011年 特集 三輪真弘教授の芸術選奨文部科学大臣賞を祝す
- 第2巻 2010年 特集 次世代インターフェイスに向けた取り組み
- 第1巻 2009年 論文 ブロック型表示インターフェイスの開発(鈴木宣也教授ほか)

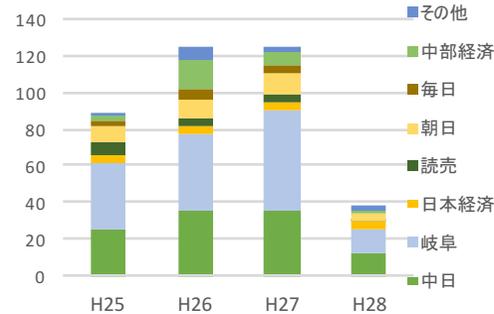
### ▶ ソフトピアジャパン・センタービルでのIAMAS広報活動

ソフトピアジャパン・センタービル1階において、IAMASの研究活動の広報を行っています。オープンハウスや卒業制作展などのお知らせのほか、卒業生の作品展示を行っています。2016年08月01日(月) - 2016年09月28日(水)には、卒業生の村山誠さん(2009年修了)の作品「Inorganic Flower」の展示を行いました。

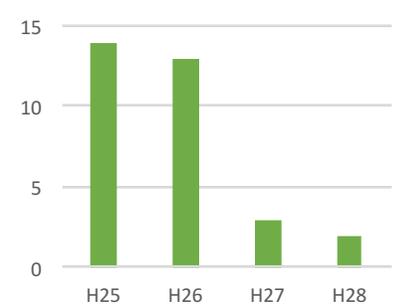


### ▶ メディア露出

#### ▷ 新聞



#### ▷ TV



※H28は8月末までに掲載あるいは放送されたもの

### ▷ 旅ラジ! (NHKラジオ第1)

ラジオイベントカー「90ちゃん号」  
2016.10.04(火) 12:30-12:55

### ▷ タ刊ゴジラじ (NHKラジオ第1)

2016.10.03(月) 17:00-17:55

ラジオの公開生放送に学長が出演し、IAMASの紹介を行いました。



### ▷ 「イアマスからのお知らせ」の発行

IAMASは、大垣市の方に向けて「イアマスからのお知らせ(IAMAS NEWSLETTER)」を発行し、お届けしています。「イアマスからのお知らせ」は学生が取材、編集、デザインを担当し、教職員(瀬川晃准教授、伊村靖子講師)の監修で発行している紙媒体のお知らせです。2015年度は現在M2の丹羽彩乃さん、2016年度はM1の後藤祐希さんと井上奈那美さんが担当しています。



# 運営の概要

## 運営

### ▶授業料、入学金その他の費用

#### ▶入学前に必要な費用

入学金  
 県内の者:226,000円  
 県外の者:338,000円

#### ▶在学時に必要な費用

授業料  
 年額 535,800円  
 前期 05月02日までに納付  
 後期 10月31日までに納付

#### ▶入寮者のみ

寮費 22,800円/月  
 共益費 35,000円/年（前納）

#### ▶授業料減免に関する情報

学業に精励し、人物健全な者で、次の各号のいずれかに該当する場合、授業料の減免または納入期限の延長が認められる場合があります。

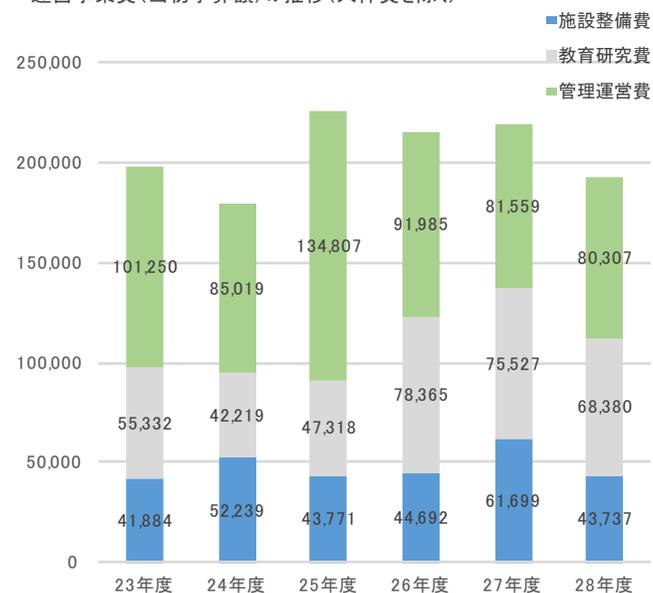
1. 生活保護法第6条第1項に規定する被保護者の世帯に属する者
2. 長期疾病、生業の不振又は失業のため、その生計が著しく不良となり、前号の被保護者に準ずる程度に困窮していると認められる世帯に属する者
3. 天災その他の災害により著しく損害を受け、学資の支弁が困難な世帯に属する者
4. 知事が別に定める基準により情報科学芸術大学院大学特別給費生として認めた者
5. その他知事が特に減免等の必要があると認めた者

### ▶情報科学芸術大学院大学に対する大学評価（認証評価）結果

情報科学芸術大学院大学は、公益財団法人大学基準協会による2014年度大学評価（認証評価）の結果、同協会の定める大学基準に適合していると認定されました。

認定期間:2015年04月01日～2022年03月31日

▶運営事業費(当初予算額)の推移(人件費を除く) (単位:千円)



※平成23年度までアカデミー予算を含む  
 平成25年度は管理運営費に移転経費を含む  
 平成27年度は施設整備費に新ネットワーク構築費を含む



# 運営の概要

## 学生支援

- ▶ IAMASの学生は、多様な専門分野、様々な地域から入学があるため、進路についても多様な要望に対応する形で支援しています。
- ▶ 学生の皆さんが、研究や制作活動に打ち込めるよう生活についての支援も行っています。

### ▶キャリアセミナー

学生が進路を検討するために必要な支援を行っています。

▶2016年04月14日(木) 9:00 - 12:05

IAMAS教員(三輪眞弘教授、金山智子教授、クワクポリョウタ准教授)によるOB・OGの紹介を行いました。

▶2016年05月16日(月) 13:20 - 16:25

仕事づくり、まちづくりをキーワードに、社会的な課題に対して意識的に活動を展開される講師によるセミナーを実施しています。

小池達也氏 コミュニティ・ユース・バンクmomo 運営事務局、東海若手起業塾事務局  
東海地方での起業支援

生川真悟氏 有限会社セルビス教育デザイン事業部部長  
上記の支援を受けて、アートプログラムによる虐待予防の活動を実施

末永三樹氏 株式会社ミユキデザイン 代表取締役  
岐阜市柳ヶ瀬のSUNDAY BUILDING MARKETの企画等、建築などの  
まちづくり活動

▶2016年10月03日(月) 13:20 - 16:25

在学生が進路を考える際に参考となるよう、身近な本学卒業生からの声を聴く機会を提供しています。

吉岡理恵氏(2010年卒業) 株式会社乃村工藝社

安野太郎氏(2003年卒業) 作曲家・日本大学非常勤講師・研究員

青木聖也氏(2015年修了) 多摩美術大学美術学部情報デザイン学科助手

### ▶キャリアカウンセリング

学生一人一人に対し、担当教員が進路について面談を行っています。

### ▶国際交流員

海外出身の教員や交換留学生のサポート、IAMAS研究成果の海外発信などのため、自治体国際化協会(クレア)「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用し、国際交流員(Coordinator for International Relations[CIR])を受け入れています。

学生の研究活動にも大きな支援となります。

### ▶学生寮[RIST]

学生寮[RIST]は、IAMASから約1.3Kmの住宅街に位置し、ユニットバス、ベッド、電気調理器具など快適さと機能性を備えた生活空間となっています。また、学生が利用しやすい寮費としています。(オール電化のためガス調理器具・暖房は使用できません。)

大垣市藤江町1丁目1-7  
全40室(洋間)



### ▶保健室

月曜日から金曜日(休日を除く)の午前9時～午後3時45分の間はセンタービル3階の保健室に常備薬を置き、怪我の応急処置に看護師が対応します。健康に関すること、毎日の暮らしに関すること、精神面のことなどの相談に対応するほか、気分の優れないときには休養室で横になって休むことができる場所となっています。

### ▶カウンセリングルーム

週1回(毎火曜日:12時30分～16時30分)、センタービル3階保健室2では、随時カウンセリングを行っています。臨床心理士のカウンセラーが対応します。

### ▶仮眠室

夜間の帰宅困難時はセンタービル2階に、仮眠を取ることができる和室があります。研究活動で疲れた身体を癒します。

### ▶シャワールーム

ドリームコア6にあるシャワールームを利用することができます。



# 運営の概要

## 入試

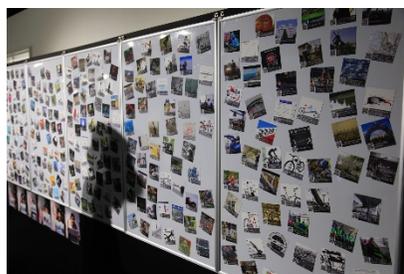
- ▶ 入学生の獲得に向けて、毎年、夏のオープンハウスの開催や秋・冬の進学相談会、卒展会場でも進学相談会を実施しています。
- ▶ また、入試に関する相談や学校見学は随時受け付けています。
- ▶ 芸術系や情報系の他の大学教員に向けて、本学教員からの依頼状を添えて募集要項を送付し、入学生の獲得に取り組んでいます。

### IAMAS Open House 2016

オープンハウスでは、進学相談、進学説明会、学内ツアー、学生有志によるカフェ、作品・研究成果の展示、トークやライブイベントなど、さまざまな催しが行われ、たくさんの入学希望者や本学の活動に興味がある方々にご来場いただきました。

2016年07月30日(土) - 2016年07月31日(日) 10:00 - 17:00

ソフトピアジャパンセンター、workshop24



### 進学相談会 in Tokyo & Kyoto

1. 進学説明会  
本学教育課程の2年間の主な流れと研究活動について紹介し、入試日程や入試方法、出願手続きなどについて説明しています。
2. 個別相談会  
本学教員と面談して、作品制作、研究の進め方やIAMASの学校生活などについて相談を受けています。

- ▶ 東京  
2016年09月03日(土) 14:00 - 16:30, 17:00 - 19:30  
2016年11月19日(土) 14:00 - 16:00, 17:00 - 19:30(予定)  
都道府県会館(東京都千代田区平河町2-6-3)
- ▶ 京都(予定)  
2016年12月10日(土) 10:00 - 12:30, 13:30 - 16:00  
MTRL KYOTO(京都府京都市下京区本塩竈町554)

▶ 東京進学相談会(9/3)の実施状況  
応募者数19人、来場者数15人

▶ 東京進学相談会(9/3)の応募者へのアンケート結果  
[興味のある分野](複数回答)

現代美術	4	地域コミュニティ	5
作曲	4	企画・プロデュース	5
パフォーマンス	5	美学・批評	0
映像表現	10	情報通信技術	1
メディアアート	15	アーカイブ	0
ワークショップ	4	オーディオビジュアル	5
プロトタイピング	5	インタラクション	11
デザイン	8	アート	5
デジタルアプリケーション	6	その他	1



